

# 平成22年度予算の概要

## 各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,523億3,000万円	0.9%
国民健康保険事業特別会計	508億 400万円	-4.4%
後期高齢者医療事業特別会計	71億9,000万円	1.9%
老人医療事業特別会計	4,100万円	-48.8%
介護保険事業特別会計	238億3,000万円	5.8%
用地特別会計	5億3,450万円	—
駐車場事業特別会計	4億9,510万円	-75.8%
合計	2,352億2,460万円	-0.5%

## 区民一人当たりの予算額(一般会計)

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	153,770円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	34,365円
災害対策や地域活動、文化振興などに	46,266円
道路・公園整備やまちづくりに	34,068円
清掃事業や環境対策に	14,994円
中小企業に対する融資など産業経済に	9,881円
特別区債の償還などに	7,966円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	37,769円
合計	339,079円

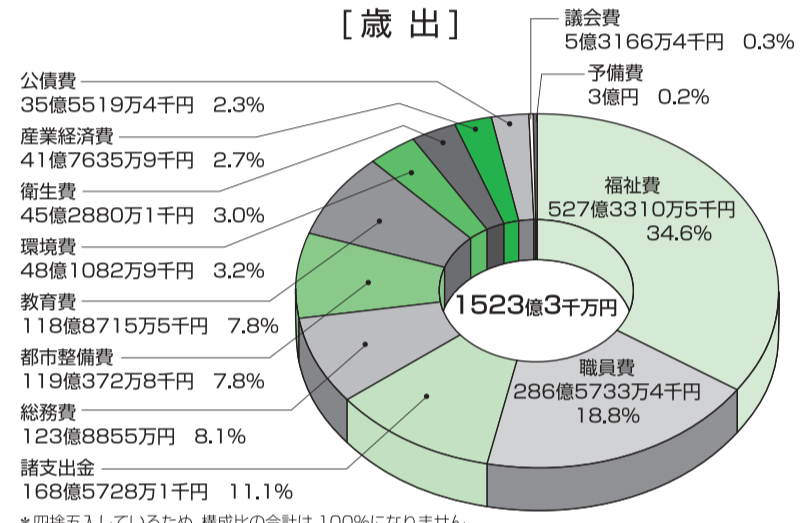
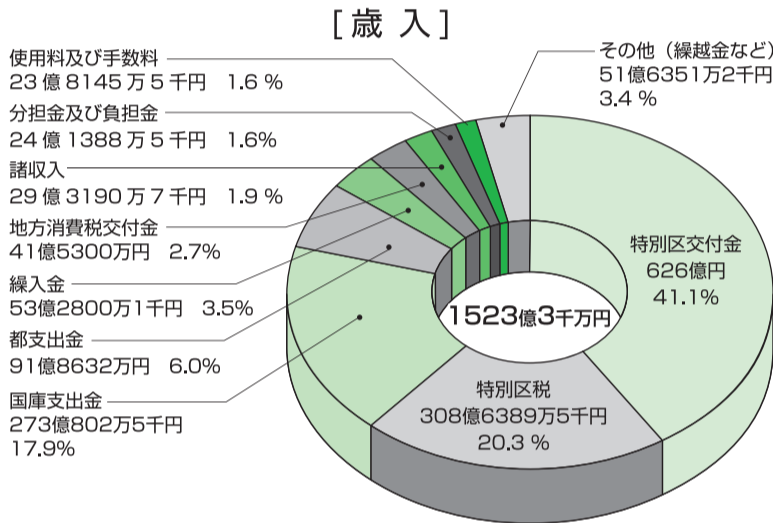
人口は446,323人(平成22年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月18日の本会議において、平成22年度各会計予算案7件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

予算案は、3月2日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、10日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月29日の本会議において可決されました。

# 予算審査特別委員会 平成22年度予算を審査

## 一般会計



予算審査特別委員会は、平成22年度各会計予算について審査を行うために、2月18日の本会議において、39名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月2日の委員会では、総括質疑を実施し、10名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立って質疑が交わされました。

また、3月3日から8日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月10日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。また、一部の委員から提出された平成22年度葛飾区一般会計予算の組み替えを求める動議については、提出者代表から提案説明を受けて採決を行い、動議は賛成少数で否決されました。

その上で、付託議案7件について順次採決を行い、「平成22年度葛飾区一般会計予算」、「平成22年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区老人医療事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、「平成22年度葛飾区用地特別会計予算」は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 予算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

## 平成22年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成22年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

### 葛飾区議会公明党

#### 厳しい財政状況下、区民ニーズに応えた点を評価

平成22年度予算案は、厳しい財政環境下、職員定数の削減などこれまでの行財政改革の取り組みが功を奏し、財調基金の取り崩しをすることなく、計画事業に加え、新たな施策にも踏み込んだ予算となっており、区民のニーズに添えている点を高く評価します。

**総務費** 総合窓口の開設については、おもてなしサービス、人材育成等、目に見える形で実現することを要望します。防災活動拠点整備は、目標の30カ所へ向けての着実な推進と内容の充実を求めます。投票所出入口の仮設スロープができていない施設があれば設置を要望します。

**産業経済費** 緊急資金融資事業の継続と設備投資融資の開設など評価します。今後の雇用情勢によっては、区独自の雇用対策の検討を望みます。区の融資制度を利用して経営者が金融円滑化法を利用して融資条件が変更し、返済の負担軽減策を区独自で検討することを望みます。中小企業退職金共済事業のさらなる充実を求めます。

**福祉費** 子ども手当の支給開始に当たっては円滑に遂行できる体制の構築を求めます。障害者福祉施設へのバス送迎については、利用者へ配慮ある対応を望みます。障害乳幼児早期療育体制の整備については、幼稚園や保育園への訪問相談事業をきめ細やかに実施するとともに、連携ファイルの小学校への情報提供などについて有効に活用される仕組みを検討するよう求めます。子ども発達センターの相談体制の拡充を望みます。待機児解消をめざした保育所の増設を高く評価します。一時保育・子育てひろば事業については、できるだけ保護者が利用しやすい駅前の実施を含め、さらに拡充することを望みます。保育所入所申込みに当たっては、入所判定に大きく影響する点について、実情を把握できるよう、申込者

へのきめ細やかな対応を求めます。

**衛生費** AED(自動体外式除細動器)の全小学校への設置を評価します。がん検診率向上のため受診しやすい事業展開を望みます。予防接種事業の拡充は評価しますが、さらなる充実と効果あるPR活動を求めます。

**環境費** プラマックの回収で優良区としてAランクに認定されたことを高く評価いたします。在区外国人への「ごみの分別収集」のPRなど、さらなるリサイクル、ごみ減量への取り組みの推進を要望します。太陽光発電の普及促進、壁面・屋上の緑化や緑のカーテン事業の促進、水質浄化やホタルの復活への取り組みを要望します。

**都市整備費** 子どもと高齢者の視点を重点においたユニバーサルデザインの街づくりを求めます。金町駅北口周辺など、駅周辺や地区の街づくりの着実な推進を求めます。耐震基準に満たない木造住宅の建て替えを促進する取り組みを望みます。自転車、バイクのコイン駐車場の促進、ボール遊びのできる公園づくりを望みます。新中川に設置予定のドックランの早期開設を要望します。児童遊園の灰皿の完全撤去については、計画通り推進することを求めます。

**教育費** かつしかデジタルコミュニティアムの予算化などを評価します。25年度に東京理科大学が開学予定ですが、今後の葛飾の子どものための教育やかつしか区民大学、産学連携による地域活性化などに大きな影響を与えることになり、後世の区民から評価される取り組みを求めます。フィットネスパークについては、流れるプールなど、すべての区民の利用を視野に入れた取り組みを望みます。今後の学校改革については、全国に誇れる取り組みを求めます。学校への太陽光発電設置、芝生化、トイレの改修、小中一貫教育、学校教育のICT化、学力・体力の向上策など教育振興ビジョンにもとづいた計画事業の積極的な推進を求めます。各特別会計については、これを了とし、事業の適切な執行を望みます。